

2009年度

科目名	教育実習指導(地理歴史)			
担当教員	三宅 奎介、松田 智弘			
配当	文財4		コード	80821
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 1
授業テーマ	中学校の社会科実習の意義理解と教職への一体感の形成について			
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとまりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。実習生としての心得として、現行教科書の通りの授業をするのか新指導要領準拠の授業をするのか、実習校での指導者に授業内容と授業方法を聞いたように展開できる各自の心づもりをさせる。			
成績評価法	(1)授業後のレポート(50%) (2)教育実習終了報告書・実習校評価(30%) (3)授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。			
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子著 明治図書			
参考書				
履修に当たっての注意・助言	(1)授業の開講日に注意 (2)教育実習の手続きを確実に (3)「実習後報告書」の提出 (4)授業は2名の教員で実施			
講義計画				
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。			
第2回	実地研究の観点や授業指導の心得等々について理解を深める。			
第3回	実地研究の観点や学習指導案作成等々について理解を深める。 実習手続きの指導(教務課)			
第4回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。			
第5回	新指導要領の地理的分野の概略。			
第6回	新指導要領の歴史的分野の概略。			
第7回	新指導要領の公民的分野の概略。			
第8回	実習校の説明を各自に確認してもらう。			
	<教育実習> *実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前 *小学校教育実習(専任教員による訪問指導) *実習終了報告書の提出			
第9回	実地研究のまとめ・発表と講評指導。			
第10回	実習後の感想と、教師に成ろうと思うかレポートを書いて提出する。			